

公益財団法人京都伝統産業交流センター

第1 法人の概要

1 代表者

理事長 田中 雅一

2 所在地

京都市左京区岡崎成勝寺町9番地の1 京都市勧業館内

3 電話番号

075-762-2690

4 ホームページアドレス

<http://fpkti.or.jp>

5 設立年月日

昭和52年3月29日

6 基本財産

11,000千円（うち本市出えん額 5,000千円、出えん率 45.5%）

7 事業目的

伝統産業の啓発及び振興に関する事業を行い、地域経済の発展と生活文化の向上に寄与すること。

8 業務内容

- (1) 京都市勧業館常設展示場の運営協力
- (2) 伝統産業に関する振興及び啓発事業

9 所管部局

産業観光局クリエイティブ産業振興室（TEL075-222-3337）

10 役員名等

(1) 理事長

田中雅一

(2) 副理事長

木村泰士

(3) 専務理事

早水督

(4) 理事

森俊次、佐藤敬二、雁瀬博、中村清斎、林史己、舞鶴一雄、森愛鐘、池田泰久、
山口薰（産業観光局クリエイティブ産業振興室長）

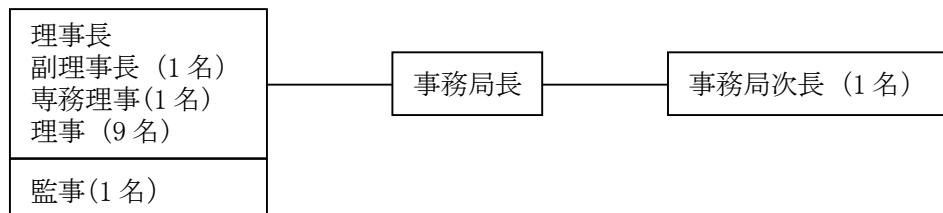
(5) 監事

松田聖

11 常勤職員数

3人（うち本市派遣職員2人）

12 組織機構



第2 経営状況

1 令和2年度決算

(1) 事業報告

ア 京都市勧業館常設展示場の展示事業

京都市内の伝統産業について体系的に紹介する施設として設置された「京都伝統産業ミュージアム」(以下「ミュージアム」という。)の管理運営を行った。【年間来館者数：65,618人】

※ 令和元年10月から約5箇月をかけた「京都伝統産業ふれあい館」の改修工事を経て、令和2年3月14日に「京都伝統産業ミュージアム」としてリニューアルオープン。

(ア) MOCADギャラリー【実施回数：18回】

伝統産業組合による展示会、ミュージアム主催の小規模な自主企画展等を実施

(イ) 企画展示室【実施回数：7回】

伝統産業に馴染みのない層への訴求、あるいは、伝統産業の魅力を深堀して紹介することなどを目指した企画展を実施

(ウ) 特別イベント【実施回数：19回】

ミュージアムへの来館を促進するため、企画展と連携したワークショップやトークイベントなどを実施

イ 伝統産業に関する振興及び啓発事業

(ア) 常設展示場内における職人実演【実演職人延べ人数：56人】

(イ) 各種イベント等への職人派遣【イベント数：4、派遣職人延べ人数：22人】

(ウ) 工房訪問事業【利用人数：163人、利用件数93件】

京都を訪れる方により深く伝統産業の魅力を知っていただき、伝統産業製品の購入につなげるため、工房訪問を希望する方と工房とを当財団がマッチングする仕組みを「京都工房コンシェルジュ」として構築し、平成28年度から本格実施している。

(エ) 京ものユースコンペティション事業

若手職人の研鑽と露出の機会の創出を目的として実施した。

応募期間	令和2年8月1日（土）～9月30日（水）
応募者数	11名
受賞者	グランプリ 1名、準グランプリ 1名

ウ 伝統産業製品の提供事業

現代の人にとって敷居が高くなりがちな伝統産業製品を身近に感じてもらえるよう、オンラインショップ「京もの専門店みやび」を運営するほか、京都迎賓館や二条城のオリジナルグッズ、会議やイベントで出席者に配られる記念品として伝統産業製品の販売に取り組んだ。

また、新型コロナウイルス感染症拡大を受けた催事や行事等の中止により、葵祭、祇園祭等向けの材料・商品の在庫を多数抱えることとなった伝統産業従事者を支援するため、特設サイト「save our crafts by MIYABI」を開設（5/14～8/31）し、販売の機会を創出した。

【売上実績】 (単位：円)

種別	金額
オンラインショップ等	15,794,348*
実店舗出展	1,029,149
常設展示・実演販売	1,682,872
記念品（特別注文）等	28,801,499
合計	47,307,868

* 特設サイト「save our crafts by MIYABI」の売上金718,153円を含む。

エ 広報活動

(ア) SNS及び口コミサイトの活用

(イ) メディアへの掲載

(2) 財務諸表

貸借対照表
令和3年3月31日現在

(単位:千円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	36,359	32,302	4,057
未収金	22,756	10,393	12,363
立替金	5	5	0
前払費用	0	0	0
流動資産合計	[59,120]	[42,700]	[16,420]
2. 固定資産			
(基本財産)			
定期預金	11,000	11,000	0
基本財産合計	(11,000)	(11,000)	(0)
(特定資産)			
退職給付引当資産	0	5,016	△5,016
賞与積立資産	165	665	△500
特定資産合計	(165)	(5,682)	(△5,517)
(その他固定資産)			
出資金	5,000	5,000	0
什器備品	531	371	160
電話加入権	80	80	0
ソフトウェア	48	99	△52
図書	8	8	0
その他固定資産合計	(5,666)	(5,558)	(108)
固定資産合計	[16,831]	[22,239]	[△5,408]
資産合計	75,951	64,939	11,012
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	29,287	20,406	8,881
賞与引当金	165	665	△500
預り金	10,865	5,993	4,872
仮受金	295	295	0
未払法人税等	70	70	0
未払消費税等	3,728	680	3,049
流動負債合計	[44,410]	[28,109]	[16,302]
2. 固定負債			
退職給付引当金	0	5,016	△5,016
固定負債合計	[0]	[5,016]	[△5,016]
負債合計	44,410	33,125	11,285
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
京都市出えん金	5,000	5,000	0
指定正味財産合計	[5,000]	[5,000]	[0]
(うち基本財産への充当額)	(5,000)	(5,000)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	26,541	26,814	△273
(うち基本財産への充当額)	(6,000)	(6,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(165)	(5,016)	(△4,851)
正味財産合計	31,541	31,814	△273
負債及び正味財産合計	75,951	64,939	11,012

正味財産増減計算書
令和2年4月1日～令和3年3月31日

(単位:千円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1	1	0
特定資産運用益	0	0	0
事業収益	18,222	18,069	153
受取補助金等	91,597	58,179	33,418
雑収益	974	1,414	△440
経常収益計	110,795	77,663	33,131
(2) 経常費用			
事業費	104,360	85,545	18,815
管理費	6,700	7,426	△726
経常費用計	111,060	92,970	18,090
当期経常増減額	△266	△15,307	15,041
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	8	779	△771
当期経常外増減額	△8	△779	771
税引前一般正味財産増減額	△273	△16,086	15,813
法人税、住民税及び事業税	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△273	△16,086	15,813
一般正味財産期首残高	26,814	42,900	△16,086
一般正味財産期末残高	26,541	26,814	△273
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,000	5,000	0
指定正味財産期末残高	5,000	5,000	0
III. 正味財産期末残高	31,541	31,814	△273

(参考1) 財務状況の推移

(単位 : 千円)

		H30 (決算)	R1 (決算)	R2 (決算)
正味財産増減計算書	経常収益	73,983	77,663	110,795
	当期経常増減額	8,355	△15,307	△266
	当期正味財産増減額	7,450	△16,086	△273
貸借対照表	総資産	63,044	64,939	75,951
	総負債	15,143	33,125	44,410
	正味財産	47,901	31,814	31,541

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H30（決算）	R1（決算）	R2（決算）
委託料	京都伝統産業ミュージアム運営	24,000	24,000	22,240
	京の「匠」ふれあい事業	4,000	4,879	3,000
	京都伝統産業ミュージアムを核とした新たな伝統産業振興事業	19,798	19,500	16,992
	「京ものユースコンペティション」に係る企画・運営業務	1,000	1,000	1,000
	京都伝統産業ミュージアムリニューアルオープン記念事業	0	0	10,000
	伝統産業作り手支援事業に係る販路開拓支援業務	0	0	20,000
	新京都館プロジェクト コラボ京都館事業運営業務	0	0	2,500
	和装産地支援事業における制作物貸出事業業務	0	0	5,000
補助金	京都市伝統産業振興事業補助金	6,533	7,800	7,909
	業種別団体等活性化支援事業補助金	0	0	2,956

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	新型コロナウイルス感染症の影響により、京都伝統産業ミュージアムの臨時閉館(4月7日～5月20日)や京都市勧業館での催事の減少等の多大な影響を受けた中、補助金及び受託金を最大限活用(前年度比+57%)し、事業収益向上に努めた点は認められる。当期正味財産増減額は赤字となったが一時的なものと考えられる。
事業面	コロナ禍において伝統産業従事者を支援するため、オンライン特設サイト「save our crafts by MIYABI」を開設(5/14～8/31)し、販売の機会を創出した結果、オンラインショップ等での売り上げは前年度比+68%となるなど、積極的な取組が行われた。

2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

令和3年度から、主要業務の「伝統産業ミュージアム」の管理運営がなくなり、事業規模(R2決算経常費用111百万円→R3予算経常費用29百万円)が大きく縮小している。

結果として、常勤職員の3分の2が市からの派遣職員となっている。

京都市では、行財政改革計画に基づき、職員削減をはじめとする厳しい歳出改革を進める予定となっていることを踏まえ、改めて市からの関与についてあり方を検討していただきたい。